

課題チャレンジ

相手、目的、意図に応じて、考えを分かりやすく伝えよう

対象学年

1・2・3年生

たしかめよう

自分の考えが分かりやすく伝えるように、相手や目的に応じて言葉を選び、工夫して話そう。

第一中学校の三年生は、卒業生から学び会を開いています。その中で、高校生の橋本さんが、「書道パフォーマンス」について動画を用いて話しています。

場面①

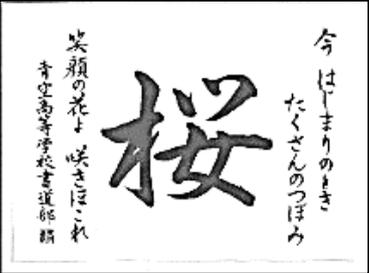


皆さん、こんにちは。青空高校の橋本です。今日は、私が所属する書道部で行っている書道パフォーマンスの魅力についてお話しします。書道パフォーマンスは、複数のメンバーで一つの作品を書き上げます。これが、書道パフォーマンスの魅力だと私は思います。  
早速ですが、四月の新生歓迎会で私たちが行った書道パフォーマンスの様子をご覧ください。

場面②で映している画面



場面③で映している画面



【設問】

この会の最後に、第一中学校の生徒がお礼の言葉を述べます。あなたなら、橋本さんにどのように述べますか。次の条件1と条件2にしたがって書きなさい。

条件1

橋本さんへのお礼の言葉を実際に話すように書くこと。

条件2

橋本さんの伝えたいことを取り上げて、自分がそれをどのように受け止めたのかがわかるように具体的に書くこと。

【設問】にしたがって書きましょう

組名前

Large empty writing area with vertical blue lines for text entry.



相手や目的を意識し、事実を取り上げて、それに対する自分の考えを具体的に話すことが重要です。

①卒業生の橋本さんが、「卒業生から学ぶ会」で、中学三年生に対して、書道パフォーマンスについてスピーチをしているという状況を把握しましょう。

②条件2にあるように、スピーチでどんなことを伝えようとしているかを確認しましょう。

③条件2の「どのように受け止めたのか」とは、橋本さんの「伝えたいこと」に対して何を感じたのか、どうしていきいかということとです。相手の「伝えたいこと」の中心を捉え、それに対する考えをもつことが大切です。

④「スピーチをした橋本さんに、お礼を伝える」という、相手や目的を意識します。条件1の「実際に話すように」とは、実際に考えを伝えることを想定し、原稿を書くつもりで書きましょう。

⑤条件を満たす書き方になっているか、確認しましょう。



お礼の言葉としてふさわしい内容ですか  
例

- ・感謝を伝える内容、前向きな内容など

お礼の言葉としてふさわしい言葉遣いで実際に話すように書いていますか

文末の表現

→敬体○：～です。～ます。

常体×：～だ。～である。

橋本さんが伝えたいことについて、具体的に書いていますか

例

- ・メンバー全員で力を合わせて一つの作品を作り上げることが書道パフォーマンスの魅力であること
- ・橋本さんの話以外で、例えば今後の自分たちの目標などを具体的に書いている

橋本さんの伝えたいことを自分がどのように受け止めたかが分かるように具体的に書いていますか

【解答例】

橋本さん、今日はありがとうございました。橋本さんのお話を伺って、メンバー全員で力を合わせて一つの作品を作り上げる書道パフォーマンスの魅力がよくわかりました。私たちも、力を合わせて学校行事などに取り組み、充実感を味わいたです。

### チャレンジ①

相手や場に応じた言葉遣いなどに気を付けて質問をしよう。

川村さんは、職場体験の訪問先である幼稚園に最終確認の電話をするためのリハーサルをしています。次は、リハーサルの一部です。

川村 もしもし、明日から職場体験でお世話になります。第一中学校二年の川村と申します。お忙しいところすみませんが、園長先生はいらっしゃいますか。

園長役 私が園長の中西です。

川村 おはようございます。明日からよろしく申し上げます。実は、お伝えしたことが二点あり、お電話をいたしました。

園長役 はい、少しの間なら大丈夫です。

川村 ありがとうございます。一点目は、参加人数のことです。七名が参加する予定でしたが、一名が風邪を引いてしまい、六名になりました。参加人数を変更しても差し支えありませんか。

園長役 はい、参加人数の変更については問題ありません。

川村 ありがとうございます。もう一点は、新しいお願いになるのですが、写真撮影についてです。準備を進める中で、職場体験の報告をするときに当日の写真をぜひ使いたいという意見が多く出たのです。

【設問一】電話を受けた相手のことを考えると、では、どのような言葉を述べるとよいですか。実際に話すように書きなさい。

どのように考えるとよいか困ったときには、「ヒント」を参考にしましょう。

ヒント

この設問に対して、Aさんと、Bさんは、次のように解答しましたが、この解答は直す必要があります。なぜ直す必要があるかを考えてみましょう。

【Aさんの解答】

それでは、お話します。

【Bさんの解答】

このまま話してもよいか。

【なぜ直す必要があるのか】

相手の状況を考えずに、一方的に話しているから。

【なぜ直す必要があるのか】

相手や場になじみがない言葉遣いだから。

【解答欄】相手のことを考え、実際に話すように書きましょう。

◆相手、目的、意図に応じて、考えを分かりやすく伝えるために

【まとめ】

誰に向けて何のために話したり聞いたり話し合ったりするのかという相手や目的を常に意識し、場面や状況を考えて話したり聞いたりすることが大切です。

考えを伝えるときには、考えの根拠となる事実を取り上げて、それに対する自分の考えを具体的に話すことが大切です。

話合いの話題や展開を捉えながら、互いの発言を結び付けたり、自分の考えと比較したりして考えをまとめ、伝えることが大切です。

【チャレンジ①解答例】

校内にある「土足禁止」という掲示物の表現をどのように直すのが決まっています。私は、文化祭に来て下さる方に対しては、「ここで脱いでお上がりください。」のように直すとよいと思いますが、どう思いますか。

条件1を満たす書き方 「線部分」

「どうするか決まっていないこと」は何かを明確にしている。

条件2を満たす書き方 「線部分」

「どうするか決まっていないこと」を解するための具体的な案になっている。

【チャレンジ②解答例】

山川さんは、ヒト型と動物型のどちらのロボットをおばあさんに贈りたいと思ったのですか。

「南さんや大野さんに続けて」とあるので、二人に重ならない質問内容になっている。

「実際に話すように」とあるので、文末表現等、ふさわしい表現になっている。

【チャレンジ③解答例】

今お時間はありますか。このままお話してもよろしいですか。

電話を受けた相手の状況を考え、相手や場に応じたふさわしい言葉遣いで話している。